

# 平成29年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 津東高等学校 )

## 1 目指す姿

|            |               |  |
|------------|---------------|--|
| (1) 目指す学校像 |               | 地域における進学校としての教育・進学ニーズに真正面から応える学校。<br>自立・進取の気概を持ち切磋琢磨に努め、不断の進化を続ける学校。 |
| (2)        | 育みたい<br>児童生徒像 | 「向学立志」の校是を理解し、自らを磨くため、高い目標を持って学習や部活動に取り組み、真摯に自分自身の人生の進路を切り拓こうと励む生徒。  |
|            | ありたい<br>教職員像  | 基本的な生活習慣、確固とした基礎学力を土台に、生徒一人ひとりの価値観の確立・自己実現や、心豊かな人間性の創造を支援する教職員。      |

## 2 現状認識

|                             |      |  |  |
|-----------------------------|------|--|--|
| (1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待 |      | <p>&lt;生徒&gt;<br/>できれば国公立大学に進学したいと希望しており、それを実現できるよう、学力を付けられるわかりやすい授業を望んでいる。</p> <p>&lt;保護者&gt;<br/>子どもをできれば国公立大学に進学させたいと希望しており、それを実現するための授業力・進路指導力を期待している。</p> <p>&lt;地域・県民&gt;<br/>地域に貢献でき、学力に見合う豊かな人格と心を持つ生徒の育成、地域社会を担い、社会貢献する生徒の育成を期待している。</p>  |  |
| (2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待    |      | <p>連携する相手からの要望・期待</p> <p>&lt;保護者・PTA&gt;<br/>確かな学力と進路保障、豊かな情緒や人格形成をして欲しい。</p> <p>&lt;地域&gt;<br/>地域の活性化に協力し、信頼できる学校となって欲しい。</p> <p>&lt;進学先(大学等)&gt;<br/>基礎学力と明確な目的意識、課題解決のための「思考力・判断力・表現力」を育んで欲しい。</p> <p>&lt;学習塾等学習産業&gt;<br/>(中学生対象の学習塾) 高校卒業後の進路状況などの情報提供をして欲しい。<br/>(高校生対象の学習塾) 大学入試に向けた連携をして欲しい。</p> | <p>連携する相手への要望・期待</p> <p>&lt;保護者・PTA&gt;<br/>家庭での学習環境整備と学校教育活動に理解や協力をして欲しい。</p> <p>&lt;地域&gt;<br/>学校教育活動に理解や協力をして欲しい。</p> <p>&lt;進学先(大学等)&gt;<br/>生徒の進路希望実現のための情報提供をして欲しい。</p> <p>&lt;学習塾等学習産業&gt;<br/>(中学生対象の学習塾) 中学生保護者へ本校教育活動の情報提供をして欲しい。<br/>(高校生対象の学習塾) 大学入試関連の情報提供をして欲しい。</p> |
| (3) 前年度の学校関係者評価等            |      | <p>○部活動との両立に悩んでいる生徒にどう対応していくか、議論していく必要がある。</p> <p>○「入ってきた生徒の力を引き出し伸ばす」ことの指標設定は難しいが、目標を校内で意思統一していくことが重要である。</p> <p>○全県立学校の平均に比べて過重労働時間が長くなっているため、削減に向けて具体的取組を考えていく必要がある。</p>  |  |
| (4) 現状と課題                   | 教育活動 | <p>生徒の学校生活は落ち着いており、学習や部活動に熱心に取り組んでいる。ただ、大人しい生徒が多く、自主性や積極性にやや欠け、高い目標設定をせず諦めてしまう場合がある。きめ細かな指導により自尊心や学習に対する意欲が高まり、国公立大学への進学者も増えている。引き続き課題の量や質を教科横断的に調整し、個々の学力に応じて必要な負荷を掛ける一方で、学習内容や量を自ら選択できるように習熟度別課題を用意するなど、生徒が主体的・自立的に学習に取り組める仕組みを工夫する必要がある。</p>  |  |

|               |  |
|---------------|--|
| 学校<br>運営<br>等 | 職員の過重労働時間が長くなっているのが、生徒の進路希望実現のため、教科指導や進路指導等の時間は削減できないので、それ以外の業務で時間短縮できるよう、学校運営のさらなる効率化を図る必要がある。「入ってきた生徒の力を引き出し伸ばす」という目指す姿の具現化のため、校内の縦横の連携を強化し、職員の意思統一を図る必要がある。 |
|---------------|--|

### 3 中長期的な重点目標

|       |   |
|-------|---|
| 教育活動  | <p>○生徒の進路希望実現と「生涯学び続け得る学力」をつけるために、生徒の学習実態を定期的に調査するとともに教員の授業力向上に学校全体で取り組み、生徒への「しかけ」や校内の「しくみ」について検討する。また、学習指導要領改訂や入試制度改革などの変化を本校の教育活動に取り入れるため、情報収集や研修会を進めていく。</p> <p>○部活動と学習の両立のための時間の使い方など、基本的な生活習慣を確立させる。一人ひとりの自尊感情を育成し、命の大切さや主体性につなげる一方で、人の気持ちを理解し他者と支え合いながら社会を創っていく社会人基礎力を育む。</p> |
| 学校運営等 | <p>○学年や分掌間で連携し、明るく相互に認め合い協力し合える組織文化を培うとともに、情報共有のしくみを作るなど、職員相互の対話と情報共有を促進し、学校全体の組織力を向上させる。</p> <p>○過重労働時間削減のための具体的方策について話し合うなど、より働きやすい職場づくりに取り組む。</p> <p>○学校運営への保護者・地域住民の参画を呼びかける。またホームページによる学校教育活動の情報提供を充実させるなど、開かれた学校づくりに取り組む。</p>   |

### 4 本年度の行動計画と評価

#### (1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

| 項目      | 取組内容・指標  | 結果           | 備考 |
|---------|--|--------------|----|
| 進路希望の実現 | <p>○手厚い教科指導を行うことで、基礎学力の充実を図る。</p> <p>○生徒に様々な機会・方法で進路情報を提供し、視野を拡げるとともに、意識啓発を行い将来に向けて高い目標の実現に向けて最後まで最大限努力する姿勢を育む。</p> <p>センター試験出願者: 90%以上<br/>国公立大学出願者数: 160名</p> <p>○進路希望や学習状況などを正確に把握し、生徒の心に寄り添った個人面談を継続的に実施する。</p> <p>○補講、学習マラソン、特編授業などタイムリーかつ有効な企画を通して、学習意欲の向上を図る。</p> <p>○教員の指導力向上に向け、進路と学年との間で進路懇談会を開催して連携を密にするとともに、入試研究会・教科研修会へ積極的に参加する。</p> <p>○昨年度見直した総合的な学習の時間を組織的に検証し、生徒が3年間で自ら社会貢献できる生き方を見い出せるよう支援する。</p> <p>○奨学金制度の紹介や手続きを行い、経済的な面から生徒の進路希望の実現を支える。</p> | (年度末および適宜記載) |    |

|                       |  |                     |  |
|-----------------------|--|---------------------|--|
| <p>学習環境の整備</p>        | <p>○学習指導要領改訂や入試制度改革などに合わせ、教育課程の問題点や単位制、習熟度別授業、S・Fクラスのあり方について、引き続き検討する。</p> <p>○授業時間の確保に努めるとともに、授業アンケートを活用し、授業の改善や教科指導力の向上につなげる。</p> <p>○「学習記録ノート」を活用し、家庭学習習慣の確立につなげる。(家庭学習の目標:平日 120 分、休日 180 分)</p> <p>○平日の始業前、放課後および学校休業日に教室や図書館を開放し、生徒が主体的に自学自習できる環境を準備する。</p> <p>○生徒が落ち着いて学習できるよう、学習環境を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美化委員による清掃確認:年16回</li> <li>・大掃除(中掃除を含む):年9回</li> <li>・ゴミゼロ運動・夏季除草作業・クラブ一斉清掃:年3回</li> <li>・机、椅子、教室のカーテンの適宜交換。</li> </ul> | <p>(年度末および適宜記載)</p> |  |
| <p>自主性・主体性の育成</p>     | <p>○生徒自らが課題を見つけ、解決する能力を身につけるため、課題解決型の授業を展開する。また、自分の弱点を分析して、それに合った課題を選んで取り組めるよう習熟度別課題を用意する。</p> <p>○より能動的に学校行事や部活動に取り組めるよう具体的な仕掛けを繰り出す。</p>   | <p>(年度末および適宜記載)</p> |  |
| <p>安全・安心な学校づくり</p>    | <p>○いじめや差別を許さず、ひとりひとりの個性の違いを認め、互いに尊重し高め合うことができる仲間づくりを支援する。</p> <p>○自らの健康に関心を持ち、主体的に健康な生活を送ることのできる生徒を育てる。</p> <p>個別の保健指導(視力/口腔の健康など):年2回以上</p> <p>○心の面でバランスを崩した生徒へのケアのため、校内外様々な機関と連携し適切なケアを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室利用状況の報告と学年との情報交換:年10回</li> <li>・教育相談係との連携:年20回</li> </ul> <p>○施設の老朽化に留意しながら適切な維持管理を行う。</p> <p>○実効性のある防災、危機管理教育や訓練を目指して、教育訓練を行う。</p>   | <p>(年度末および適宜記載)</p> |  |
| <p>自尊感情と社会人基礎力の育成</p> | <p>○心身共に健全健康になる心のケアを念頭において、生徒との対話を丁寧に行うほか、小さな成功体験を積み重ねて自信をつける機会を設け、自己肯定感や自尊感情を育成する。</p> <p>○様々な機会をとらえて、生徒の知識背景を豊かにし、広い視野を身につけることで、人間関係のあり方や社会問題に関心を持ち、望ましい集団や社会実現に向けて行動できる力を育成する。</p> <p>○どんな場面でも元氣よく挨拶ができる態度の育成のため、常に職員からの声掛けを心がける。状況に応じて、きちんとした言葉遣いで話すことができる力を育成する。</p> <p>○学級活動や学校行事、部活動等を通じて、生徒が自主的、主</p>  | <p>(年度末および適宜記載)</p> |  |

|          |                      |  |  |
|----------|----------------------|--|--|
|          | 体的に活動できるような場面設定に努める。 |  |  |
| 改善課題     |                      |  |  |
| (年度末に記載) |                      |  |  |

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

| 項目          | 取組内容・指標   | 結果           | 備考 |
|-------------|---|--------------|----|
| 学校全体の組織力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○風通しの良い職場づくりのため、日頃から各学年・分掌・教科をはじめ縦横の連携を密にして、取組に関する情報や生徒情報の共有を図る。</li> <li>○教職員が相互に認め合い、協力し合える組織文化を醸成し、生徒の指導について教員一人が抱え込むことなく“チーム”として対応できるよう、体制を充実させる。</li> <li>○各種研修において意見交換する場を設けるなど、職員が協調して指導に臨めるような雰囲気づくりに取り組む。</li> </ul>  | (年度末および適宜記載) |    |
| 開かれた学校づくり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページなどを通じて学校の取組を紹介し、多様な意見を聞くとともに、学校開放に積極的に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デイリーニュースの更新回数70回以上</li> </ul> </li> <li>○PTA 活動や学校関係者評価委員会を通して、保護者や地域住民の学校運営への参画を進める。</li> <li>○授業公開への保護者来校者数増加に向け、周知広報に取り組む。</li> <li>○学年別の進路説明会で、最新の進路情報を提供する、あるいは、教育相談室を気軽に活用できるよう広報するなど、様々な不安を抱える保護者のため、情報提供に積極的に取り組む。</li> <li>○外部の方に対して、親切丁寧な窓口対応や電話対応を行う。</li> </ul> | (年度末および適宜記載) |    |
| 目指す姿の具現化    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の進路希望実現と教員の授業力向上のため、学力向上推進会議を活性化する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上委員会の開催:年8回以上</li> </ul> </li> <li>○Sクラスの特徴化に向け、学校ビジョン委員会で検討を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ビジョン委員会の開催:年6回以上</li> </ul> </li> <li>○目指す姿の具現化とそれに向けた個々の教職員の取組にして、校長と教職員が対話を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長と教職員との面談:一人平均年3回以上</li> </ul> </li> </ul>      | (年度末および適宜記載) |    |
| 働きやすい職場づくり  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○総勤務時間縮減に向けて、以下について学校安全衛生委員会を中心に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外労働時間を昨年度に比べて縮減する。</li> <li>・休暇取得日数を昨年度に比べて増やす。</li> </ul> </li> </ul>   | (年度末および適宜記載) |    |

|          |   |  |  |
|----------|---|--|--|
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退校日を月あたり1日設定する。</li> <li>・部活動休養日を週あたり1日設定する。</li> <li>・放課後に実施する会議は、60分以内に終了する。</li> </ul> |  |  |
| 改善課題     |   |  |  |
| (年度末に記載) |   |  |  |

## 5 学校関係者評価

|                             |          |
|-----------------------------|----------|
| 明らかになった<br>改善課題と次へ<br>の取組方向 | (年度末に記載) |
|-----------------------------|----------|

## 6 次年度に向けた改善策

|                  |          |
|------------------|----------|
| 教育活動につ<br>いての改善策 | (年度末に記載) |
| 学校運営につ<br>いての改善策 | (年度末に記載) |